

# 廃校活用の現状と可能性

～文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」～

令和3年2月

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課

# 廃校の活用事例

「学校」が生まれ変わり、地域が元気に！

## ～ 熊本県菊池市 酒蔵と体験型宿泊施設 ～

経緯

【酒蔵】良質な水と米を調達できる場所を探していた(株)美少年から要望を受け、市及び活用検討委員会で協議し実現。

【体験型交流宿泊施設】次世代を担う子供たちの将来を考え「よりよい教育環境を提供する」という観点から、市と利用促進協議会で検討し、「きくちふるさと水源交流館」としての活用を実現。（地域住民が中心のNPO法人が指定管理者として管理運営。）

※ H15・17「やすらぎ空間整備事業」補助金（農林水産省）

自治体側のメリット		活用事業者側のメリット
自治体における収益等のメリット	地域活性化に関するメリット	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 廃校施設の売却益（酒蔵：約3,600万円）</li> <li>◆ 雇用創出による経済効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒蔵：常勤7名</li> <li>・体験型宿泊施設：常勤4名・非常勤7名</li> </ul> </li> <li>◆ 本来かかる廃校の維持管理費の減                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒蔵・体験型宿泊施設：各200万円/年</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 観光客増加による経済効果等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒蔵：地域で開催の新酒まつりや工場内の売店にも多数の来場者。</li> <li>・体験型宿泊施設：12,000名/年（うち1,700名宿泊）※平成28年度</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 同規模建物等を新築するよりも安価な改修費用により事業開始が可能。（例：酒蔵）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・同規模建物等を新築する場合にかかる経費＝約3億1千万円</li> <li>・改修費用＝約2億5千万円</li> </ul> </li> <li>※ 新築の約8割の経費で事業開始</li> <li>◆ 同程度面積の教室に分かれているため、宿泊施設等に利用しやすい。</li> </ul>

旧水源小学校を(株)美少年の酒蔵に活用



旧菊池東中学校を「きくちふるさと水源交流館」に活用



地域の食材を使った食事を提供する食堂。



冷暖房完備の寝室。

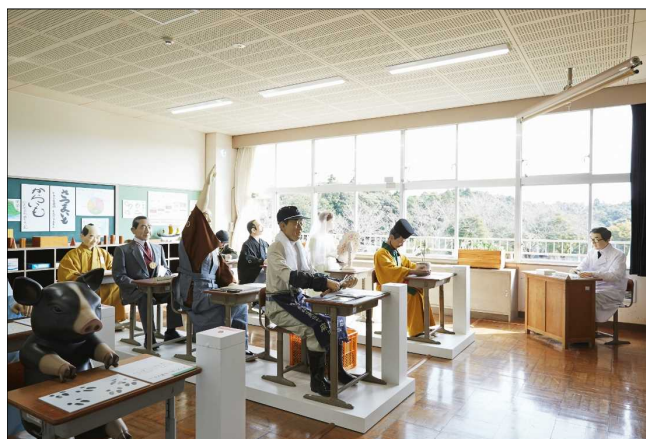
## なめがた ～ 茨城県行方市 さつまいものテーマパーク ～

経緯

【企業】行方産のサツマイモを関西や九州で加工し全国に販売していた企業が、行方市への工場進出を進めていた。  
 【行方市】小中学校の統廃合を進めていたところ、市主催の説明会で学校跡地を利用した農業活性化ビジョンに地元の理解を得て、売却が決定。「なめがたファーマーズヴィレッジ」（加工工場、ミュージアム、レストランを設置）としての運営開始。  
 ※ H25「6次産業化推進事業（連携施設整備事業）」補助金（農林水産省）

自治体側のメリット		活用事業者側のメリット
自治体における収益等のメリット	地域活性化に関するメリット	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 廃校施設の売却益（約1,122万円）</li> <li>◆ 雇用創出による経済効果 常勤100名超</li> <li>◆ 本来かかる廃校施設の維持管理費の減 67万2,000円/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 観光客増加による経済効果等 約21万5,000人/年 (うち観光客：約17万5,000人/年)</li> <li>・はとバスコースになる等、観光客に人気。 観光客のうち6割がピーターに。 (視察等：約4万人/年)</li> <li>・全国市町村（教育委員会、農林水産関係や商工観光関係、議会等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 同規模建物等を新築するよりも安価な改修費用により事業開始が可能。</li> <li>・同規模建物等を新築する場合にかかる経費 = 約40億円</li> <li>・改修費用 = 約22億円 (そのほか、設備関係費で14億円（工場：12億円、商業施設：2億円）)</li> <li>※ 約半分弱の経費で事業開始</li> </ul>

旧大和第三小学校を  
さつまいものテーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」に活用



教室を、さつまいもの歴史などを学ぶことのできる展示室に改装。

「焼き右衛門」がミュージアムを案内。



現在も、校門跡には「行方市立大和第三小学校」という文字がある。

## 自治体の視点から

- ・本来かかる維持費の減
- ・貸与・譲渡による収益
- ・雇用創出効果
- ・地域活性化効果

# 廃校活用の メリット

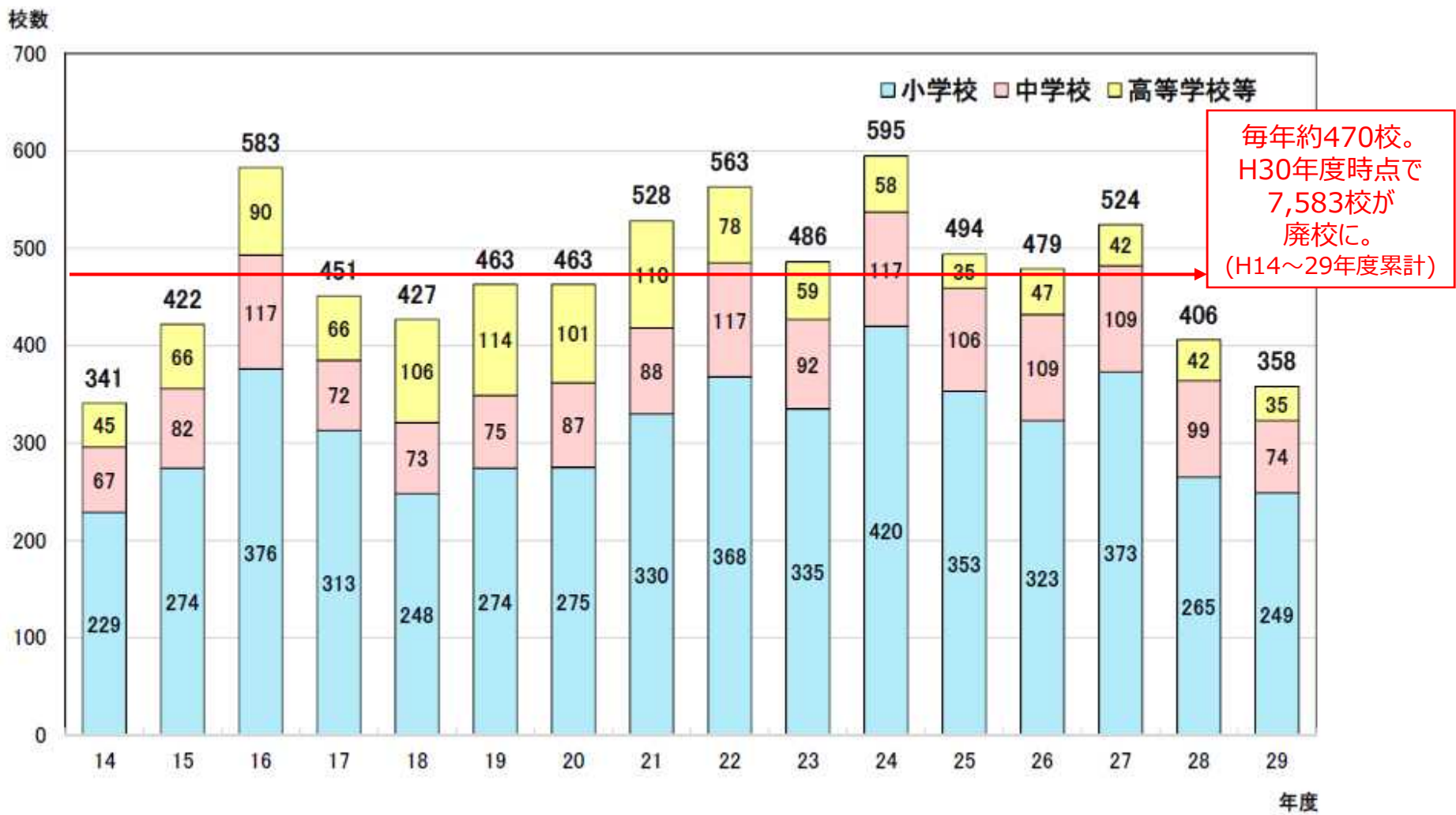
## 事業者の視点から

- ・事業開始の初期費用が安価
- ・使い勝手の良い空間
- ・地域密着が可能
- ・高い宣伝効果

# 廃校の発生状況

◆ 少子化の影響により、毎年約470校程度、廃校が発生（【図1】）。

【図1】 公立学校の年度別廃校発生数（平成14年度～平成29年度）



出典：平成30年度廃校施設活用状況実態調査（文部科学省）

# 廃校の活用状況

【図2】廃校の活用状況

廃校年度		前回 平成14年度～平成27年度 (平成28年5月1日現在)	今回 平成14年度～平成29年度 (平成30年5月1日現在)
廃校の数 (A)	小学校	4,489	5,005
	中学校	6,811	7,583
	高等学校等	1,307	1,484
	高等学校等	1,015	1,094
施設が現存している廃校の数 (B)	$\times 100(\%)$ B/A	(校) 5,943 87.3%	(校) 6,580 86.8%
活用されているもの (a)	a/B	4,198 70.6%	4,905 74.5%
活用されていないもの (b)	b/B	1,745 29.4%	1,675 25.5%
活用の用途	決まっている (c)	314 5.3%	204 3.1%
	決まっていない (d)	1,260 21.2%	1,295 19.7%
取壊しを予定 (e)	e/B	171 2.9%	176 2.7%
保存する施設なし (C)	C/A	868 12.7%	1,003 13.2%

→ 主な活用用途

- ◆ 一方、廃校施設のうち約20% (1,295校) については、活用の用途が決まらず放置されており、その維持管理費等が、自治体にとっては負担となっている (【図2】)。

- ◆ 廃校施設のうち約75%は、社会体育施設、社会教育施設・文化施設、福祉施設・医療施設、企業や法人等の施設、体験交流施設等、何らかに活用されている (【図2】)。

(単位: 件数)

主な活用用途	平成14年度～平成27年度 (平成28年5月1日現在)	平成14年度～平成29年度 (平成30年5月1日現在)		
		合計	校舎	屋内運動場
学校 (大学を除く)	1,609	3,473	1,756	1,717
社会体育施設	1,015	1,581	164	1,417
社会教育施設・文化施設	675	1,194	744	450
社会教育施設	604	912	560	352
文化施設	71	282	184	98
福祉施設・医療施設等	424	705	511	194
老人福祉施設	146	223	163	60
障害者福祉施設	92	169	126	43
保育施設	37	55	41	14
認定こども園	11	30	18	12
児童福祉施設 (保育所を除く)	41	64	45	19
放課後児童クラブ	54	101	75	26
放課後子供教室	21	35	20	15
医療施設	22	28	23	5
企業等の施設・創業支援施設	370	783	526	257
企業や法人等の施設	339	711	478	233
創業支援施設	31	72	48	24
庁舎等	268	417	306	111
体験交流施設等	239	477	302	175
備蓄倉庫	102	177	113	64
大学	35	76	41	35
住宅	12	22	15	7

(複数回答)

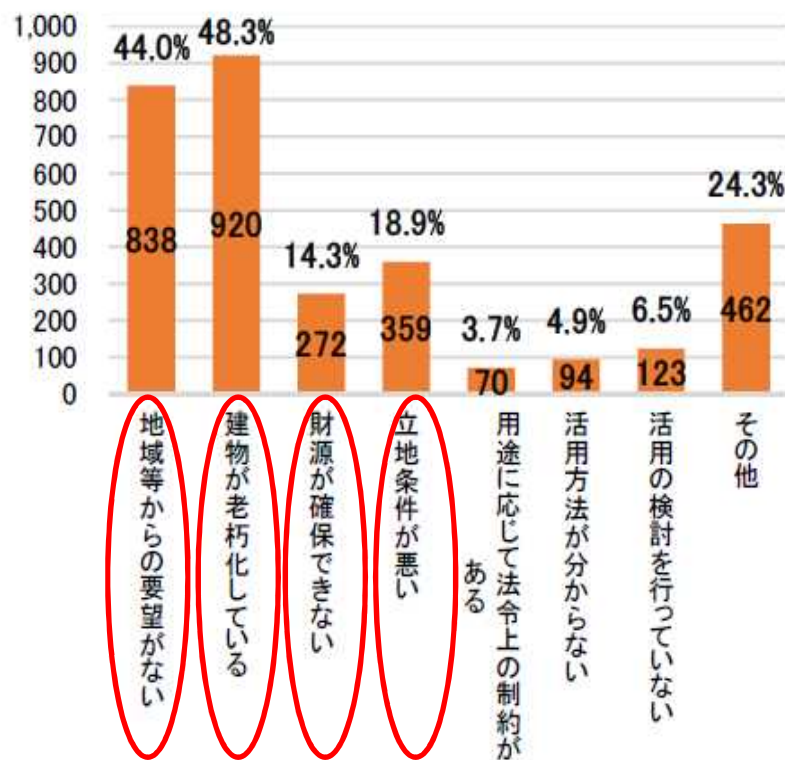
出典：平成30年度廃校施設等活用状況実態調査 (文部科学省)

## 廃校の活用状況

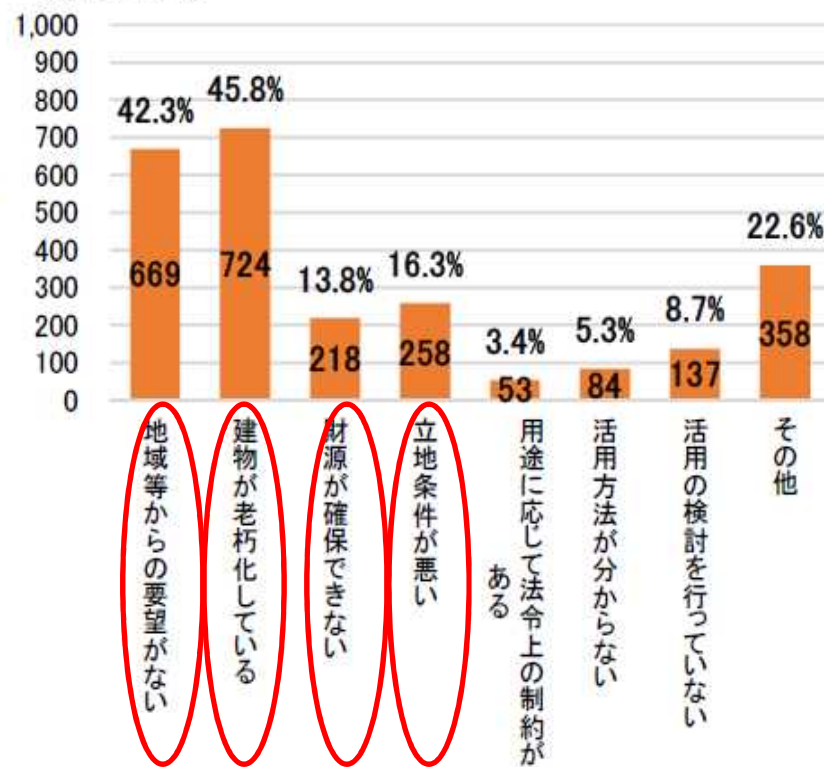
- ◆ 活用用途が決まっていない1,295校については、「地域からの要望がない」「施設が老朽化している」等の理由がある（【図3】）。

【図3】活用の用途が決まっていない理由

【校舎】



【屋内運動場】

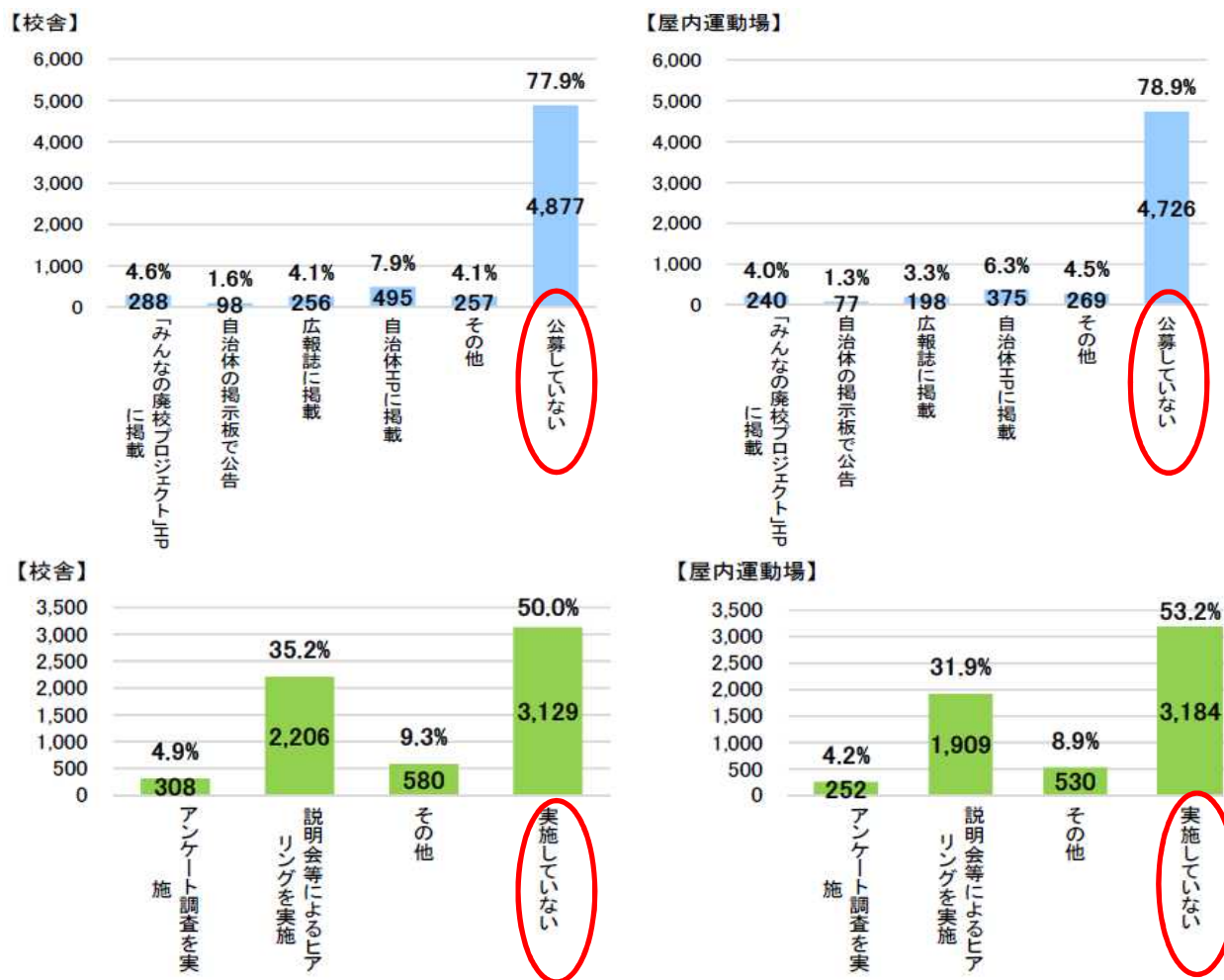


出典：平成30年度廃校施設等活用状況実態調査（文部科学省）

# 廃校の活用状況

◆ 自治体の約8割が公募を行っておらず、約半分が意向聴取も行っていない（【図4】）。

【図4】公募・意向聴取の状況



出典：平成30年度廃校施設等活用状況実態調査（文部科学省）



## 廃校活用の課題

### ① 自治体側への廃校活用に関する情報提供

- 自治体において廃校施設の活用用途が決まっていない理由として、「施設の老朽化」「立地条件の悪さ」「財源が確保できない」等の理由がある。  
↓
- 全国各地の廃校活用事例や、転用施設の改修に対する国庫補助制度について、文部科学省から情報提供することで、自治体に廃校活用について積極的に検討していただけるようにする。

### ② 活用希望企業等とのマッチング

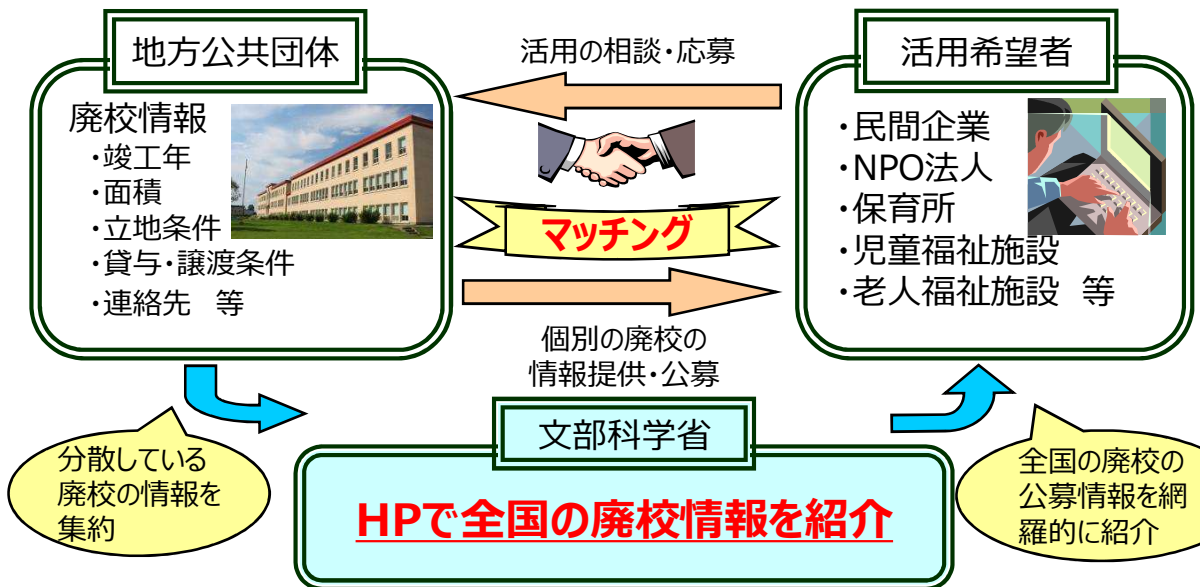
- 自治体単独では、廃校施設を活用したい企業等へのPRに限界がある。  
↓
- 文部科学省ホームページにおいて、全国に活用を募集する廃校施設等に関する情報を掲載し、広く全国の民間企業等に周知する。



文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」

# みんなの廃校プロジェクト

文部科学省では、廃校活用推進のため、全国各地の優れた活用事例の紹介や、活用希望廃校情報の公表等を通じて、廃校を「使ってほしい」自治体と、廃校を「使いたい」企業等とのマッチングを行っています。



施設の基本情報や、外観写真、平面図等の情報を網羅的に掲載。

千葉県	鴨川市	主基小学校		鴨川市成川35		
JR外房線・内房線安房鴨川駅から徒歩約7分		問い合わせ先		鴨川市 企画政策課地域戦略係 04-7003-7828		
用途地域	土地面積 (㎡)	構造 竣工年 施設区分	建築面積 (㎡) 延床面積 (㎡) 階数	募集内容	貸与・譲渡条件等	備考
都市計画区域外	7,530	鉄筋コンクリート 554	- 1,922	アイデア募集	・地域の産業や活性化につながる ・事業開始後も市の防災対策や防災機能の維持に協力すること(詳細は別途協議)	・校舎は新築改修の必要あり 旧校舎面積 (556竣工・267㎡)が隣接
校舎等の外観写真		校舎等の平面図		校舎等の配置図		



廃校施設の活用事例集を作成。

- ① 廃校施設活用事例集  
～未来につなごう～  
みんなの廃校プロジェクト
- ② みんなの廃校プロジェクト  
廃校施設の有効活用  
— 企業活用編 —



# 廃校活用マッチングイベント

文部科学省では、廃校を「使ってほしい」自治体と、廃校を「使いたい」事業者とのマッチングを図るため、実際の廃校活用事例について学ぶとともに、参加者同士が自由に交流できる「廃校活用マッチングイベント」を開催しています。

## ◆開催実績（令和2年度）

### 福岡会場

（令和2年9月15日 福岡国際会議場）

#### ・出展ブース：5自治体

千葉県、長野県中野市、京都府福知山市、兵庫県淡路市、福岡県田川郡川崎町

#### ・参加者：57名

事業者34名、自治体12名、ブース出展者11名



事例発表



各ブースでの交流の様子

### オンラインで開催予定

（令和3年2月5日にWebex Meetingsを活用して実施予定）

#### ・出展ブース：8自治体を予定

宮城県気仙沼市、宮城県角田市、千葉県、千葉県君津市、富山県、長野県筑北村、兵庫県南あわじ市、奈良県下市町

～未来につなぐ～  
みんなの廃校プロジェクト

### 廃校活用マッチングイベント（オンライン）

廃校を「使ってほしい」自治体と、廃校を「使いたい」事業者との出会いの場！

- 日時 令和3年2月5日(金)9時30分～16時30分
- web会議システム（Cisco Webex Meetings）を活用して、オンラインで実施
- スケジュール（予定）
  - 9:30 開会
  - 9:35～10:35 行政説明、事例発表①②
  - 10:40～12:10 マatchingタイムに参加する自治体からの概要説明
  - 13:00～16:25 マatchingタイム①～⑧（約30分×6回）
  - 16:30 閉会

※Matchingタイムでは6つの時間帯にそれぞれ3つのミーティングルームを用い、各自治体と参加者との間で質疑の応答を行い、Matchingや情報交換を図ります。

●参加受付 令和3年1月8日(金)17時～

※定員ありの各部屋を予定（先着順） ※内容は変更する可能性があります。

#### 事例発表

全国での廃校活用事例について、自治体と企業間の交流の場として、廃校活用に関する情報や工夫等について、お話を聞けるチャンスです。

<事例発表者> ※予定  
 ①神奈川県山北町 ※ 野島建設  
 ②山梨県北杜市 ※ 解アーツ  
 （国庫庁舎跡地活用施設として活用）

#### Matchingタイム

廃校を「使ってほしい」自治体と参加者同士が自由に質疑応答や情報交換を行い、Matchingタイムを図ります。

<Matchingタイム参加自治体> ※予定  
 ①宮城県気仙沼市 ②宮城県角田市 ③千葉県  
 ④千葉県君津市 ⑤富山県 ⑥山梨県山北町  
 ⑦長野県筑北村 ⑧兵庫県南あわじ市  
 ⑨奈良県下市町

みんなの廃校

<お問い合わせ>  
 文部科学省官民連携推進委員会・教育政策推進部  
 施設活用推進課  
 TEL:03-5253-4111（内線2001）  
 E-mail:mngproj@mext.go.jp

周知用のチラシ

## 関連URL（文部科学省ホームページ）

- ・ ～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクト  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1296809.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1296809.htm)
- ・ 「みんなの廃校」プロジェクト 現在活用用途を募集している廃校施設の一覧  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1394609.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1394609.htm)
- ・ 「廃校施設活用事例集 ～未来につなごう～みんなの廃校プロジェクト」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1414740.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1414740.htm)
- ・ 「みんなの廃校」プロジェクト 廃校施設の有効活用事例集－企業活用編－  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1397231.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1397231.htm)
- ・ 「廃校活用マッチングイベント」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyosei/1422877\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1422877_00001.htm)
- ・ 廃校施設等の活用に当たり利用可能な補助制度（令和2年4月現在）  
[https://www.mext.go.jp/content/1296877\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1296877_1.pdf)

みんなの廃校

検索

